

塑性加工による製造革新と技術導入のヒント －高難度成形への挑戦－

軽量化・高機能化のニーズが高まる中、塑性加工技術は複雑形状の精密加工へと進化を遂げています。材料組織や加工条件の精密制御、注目を集めるチューブフォーミングなど、革新的な技術が次々と登場しています。本セミナーでは、これらの最新動向に加え、実際の加工事例や技術戦略も交えながら、研究開発や製品設計に活かせるヒントを提供します。

日 時 令和7年9月3日(水) 13:30 ▶ 16:00
13:00から会場受付開始

会 場 鳥取県産業技術センター機械素材研究所
(3階 起業家育成研修室) 〒689-3522 米子市日下1247

参加費 無料

こんな方に
お勧め!!!

- ☐ 新しい加工技術を取り入れたい製造業の技術者
- ☐ 中小企業での技術戦略に悩む経営者・技術責任者

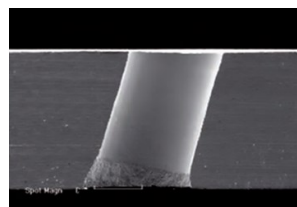
講演1 13:30

腕時計部品から学ぶ！超精密塑性加工の技術革新と 中小企業における技術戦略について

株式会社小松精機工作所

専務取締役 研究開発部長 小松 隆史 氏

微細で複雑な形状を高精度に成形する腕時計部品の加工技術をベースに、プレス加工の限界を突破する事例をご紹介します。さらに、限られたリソースの中で技術開発を進める中小企業の戦略や、研究開発への取り組み方についても具体的に解説。精密加工に挑む企業にとって、実践的なヒントが満載です。



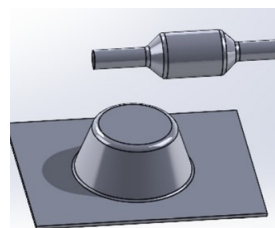
プレス加工による
Φ0.1mmの斜め孔加工

講演2 15:00

活かし方次第！塑性加工の可能性と応用展開

鳥取県産業技術センター機械素材研究所 塚根 亮

従来の加工法では困難だった複雑形状の成形を可能にする、有望な塑性加工技術をご紹介します。チューブフォーミング、インクリメンタルフォーミング、衝撃塑性加工など、今注目の技術を解説。製品設計の自由度を高めたい方、加工の可能性を広げたい方に、新たなヒントを提供する内容です。



チューブフォーミングや
インクリメンタルフォー
ミングで成形可能な形状
の一例

所内見学（希望者のみ） 15:40

本セミナーに関連する試験装置の見学を行います。

講師プロフィール

株式会社小松精機工作所

こまつ たかふみ

専務取締役 研究開発部 部長 **小松 隆史 博士（工学）**



中堅企業のモデルとして注目される長野県の（株）小松精機工作所にて、生産技術担当、生産管理課課長、製造部長、専務取締役を経て、現在専務取締役兼研究開発部長を務める。2014年に株式会社ナノ・グレインズを創業し代表取締役社長を兼任。他医療系、材料系の会社など現在7社の経営に参画。

つかね りょう

鳥取県産業技術センター機械素材研究所

塚根 亮

機械・無機材料グループに所属。材料試験や塑性加工のコンピューターシミュレーションなどについての支援を実施。主として金属材料の粉末冶金、塑性加工の研究に従事。

会場アクセス

鳥取県産業技術センター機械素材研究所
〒689-3522 米子市日下1247



申込み・問合せ



【申込方法】

◆センターホームページの申込フォームにてお申し込みください

<https://tiit.or.jp/3202/5450/soseikako/soseikako1/>

◆参加申込書に所定事項をご記入の上、FAX または メールにてお申し込みください

◆申込期限 令和7年**8月29日（金）**まで

【お問い合わせ先】

機械素材研究所 塚根 亮

電話番号 0859-37-1811

参加申込書

FAX: 0859-37-1823

Mail: tiitkikaisozai@tiit.or.jp

企業名	
所属・役職・氏名	
電話番号・FAX	
メールアドレス	



地方独立
行政法人

鳥取県産業技術センター